

理事長挨拶



理事長・院長 佐々木 庸

主たる資格等
【医学部系資格】
 日本脳卒中の外科学会技術指導医
 日本脳卒中学会指導医
 日本脳神経外科学会専門医
 日本脳神経血管内治療学会専門医
 日本ステミュレーション学会 理事
 日本ボツリヌス治療学会 理事
【経営学部系資格】
 経営学修士
 (神戸大学経営学部大学院MBA)

■厚生労働省公式ホームページ内「医療施設の経営改善に関する調査研究(平成29年度)」
<https://goo.gl/7z7Zzc>



令和2年は未曾有のコロナ禍にみまわれた前代未聞の時期となってしまいました。そんな中当院は開設9周年を迎えることとなり、私たちを信頼いただいた患者様ならびに患者様ご家族の皆様へ深く感謝するとともに、積極的にコロナ感染拡散防止対策に設備投資しています。

具体的には、新たな西待合室の増築(本年11月開設予定)、全館全室に配備したオゾンクラスター装置(彩りの都デイサービスを含め約100台)、救急治療導線にヘパフィルター付き陰圧吸引空調機器(救急ER室、CT室、脳血管内手術室に計7台)の設置、SCU陰圧ルーム(すでに3室稼働し、10月下旬には合計7室へ増室)の設営です。

さらに積極的に窓を開放した上で扇風機やサーキュレーター(約60台)を駆使し換気を徹底することでエアロゾルによる水平感染を予防するよう配慮しています。また既存区画(南区画)に隣接した北区画においては、救急車搬送窓口の拡大と駐車場を設営し、将来的な増築増床に備え体制を整備しています。

かようなコロナ感染拡散防止設備投資を徹底することで令和元年のレベルよりも格段により安全で高度な脳卒中救急救命治療が実施できるものと認識しています。今しばらくはコロナに振り回されていくものと思われませんが、大阪東部地区の皆様へ育てていただいた私たち藍の都は、ハートある職員一同で一丸となって、患者様ファーストのDNAを薄めることなく、明るく強く、東部地域住民の皆様への治療貢献を継続していきたいと考えています。

患者様ならびに 患者様ご家族の皆様へ

当院では医師やスタッフへの謝礼金のお受け取りは固くお断りしております。一方で当法人への寄付金については、理事長総務室を窓口にお受け入れをさせて頂いております。当法人のハートある医療提供への取り組みにご賛同ご支援いただけたら幸いです。

社会医療法人ささき会 藍の都脳神経外科病院 院長
 お問い合わせ先 理事長総務室 06-6965-1805(直通)

〈診療のご案内〉

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00 (受付 8:45~11:30)	○	○	○	○	○	○	
14:00~17:00 (受付 13:30~16:30)	○	○	○	○	○	○	

■診療日：月～土曜日(土は午前中診療)

■休診日：日曜・祝日・年末年始(12/30~1/3)

◎救急外来は24時間診療です。※診療科により異なる場合があります。

〈面会のご案内〉平日 14:00~20:00 / 土日祝 11:00~20:00

ICU・SCU 14:00~15:00 と 19:00~20:00



社会医療法人 ささき会

藍の都脳神経外科病院

AINOMIYAKO NEUROSURGERY HOSPITAL

大阪市鶴見区放出東2丁目21番16号

Tel.06-6965-1800 FAX.06-6965-1600

URL: <http://www.ainomiyako.net>

・日本脳神経外科学会専門医研修プログラム連携施設(基幹病院:北野病院)

・日本脳卒中学会認定研修教育施設



藍の都 いるか通信

地域の方々と共に育む、
当院がお届けする健康だより

Vol.7
Take Free

AINOMIYAKO DOLPHIN NEWSLETTER

INDEX

- P.1~2 •名誉院長就任のご挨拶
- P.3 •外内視鏡システム導入
- P.4 •栄養部の取り組みの紹介
- P.5 •「施設基準管理士」を取得しました
•「外国人医療コーディネーター」を取得しました
- P.6 •東大阪消防より表彰
•ミャンマーから3人の実習生が来ました！
- P.7~8 •病院開業9周年記念事業
- P.9 •理事長ご挨拶



循環器カテーテル治療風景
 山平循環器部長 執刀
 アシスト 佐々木院長&森田副部長



緊急脳動脈瘤コイル塞栓術
 小林副部長執刀 佐々木院長指導
 矢野副部長 第1アシスト 森田副部長 第2アシスト



名誉院長就任のご挨拶

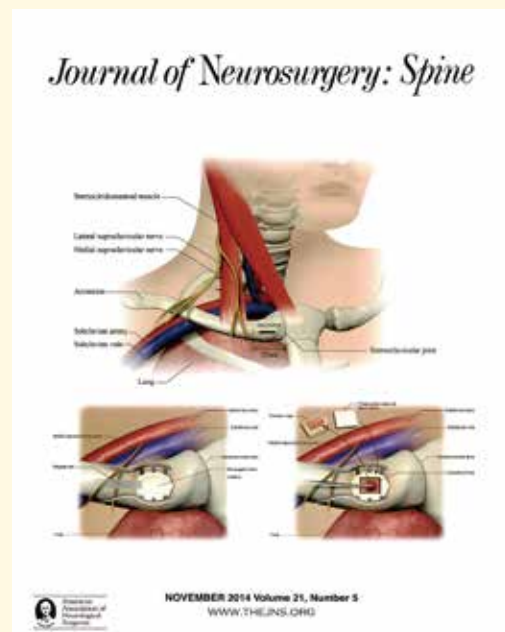


名誉院長/脳神経外科
頭蓋底脳腫瘍/微小脳血管減圧術治療班 班長
岩崎 孝一

出身大学：金沢大学・京都大学大学院
趣味：ワイン収集



(左)岩崎名誉院長執刀 (右)佐々木院長アシスト参加



この度、藍の都脳神経外科病院の名誉院長に就任致しました岩崎です。

私は大学卒業後、京都大学脳神経外科に入局し、米国クリーブランド・クリニックのフェローを経て、**国立病院機構・姫路医療センターと田附興風会医学研究所・北野病院の主任部長をそれぞれ12年と9年経験致しました。**また北野病院・主任部長時代には、京都大学医学部・臨床教授および滋賀医科大学・非常勤講師を兼任致しました。佐々木院長とは当院の開設当時より親交があり、北野病院在職時代から特別外来や様々な疾患の手術指導に招聘して頂いたご縁もあり、本年8月より当院に勤務させて頂くことになりました。

言うまでもなく当院の診療の柱は急性期脳卒中に対する救急医療であります。全スタッフがー丸となって24時間365日の救急医療と脳卒中ケアユニットの運営に注力してきたその功績が認められ、所属医療圏の地域医療を担う社会医療法人に認定されています。一方、私の臨床的な専門分野は、脳腫瘍手術、難治性の三叉神経痛や顔面痙攣に対する神経減圧術、低侵襲の脊椎・脊髄手術などです。脳卒中以外の疾患にも診療の幅を拡げることで、今後の当院の発展に貢献したいと考えています。更に当院は数年前から、日本脳神経外科学会および専門医機構が認定する北野病院・脳神経外科の連携研修施設としてご協力頂いております。北野病院は、大阪府内では大学病院・ナショナルセンターを除く病院の中で唯一の日本脳神経外科学会認定の基幹施設であります。今後も両院間の連携強化に貢献出来れば幸いです。

アメリカ脳神経外科学会誌 (Journal of Neurosurgery Spine) に掲載された低侵襲の脊椎・脊髄手術手技に関する論文。論文中のイラストが掲載誌の表紙に採用されています。

岩崎名誉院長(元北野病院主任部長)の執刀の下、三叉神経痛微小脳血管減圧術、顔面痙攣微小脳血管減圧術を積極的に実施開始しています。

微小脳血管減圧術において、当院では安全に手術を実施するため、手術前にCTによる造影検査を実施し、手術野に露出する横静脈洞からs状静脈を確認して、その上で開頭を実施します。

三叉神経痛への微小脳血管減圧術について



造影CTによる横静脈洞からs状静脈

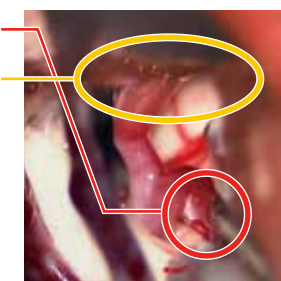


実際の開頭部分



顕微鏡下手術風景 岩崎名誉院長執刀
佐々木院長第1アシスト 森田副部長第2アシスト

圧迫した血管を三叉神経から丁寧に外します。そして圧迫部をしっかりと解除します。(赤丸)そして、生理的組織接着剤を使用してこの血管の別な部分を硬膜に接着(黄色丸)して先の解除した状態を安定させます。こういった手法をTrans position法と言います。もっとも再発率が少ない手技ですので当院では岩崎名誉院長のご指導のもと、優先的に実施しています。

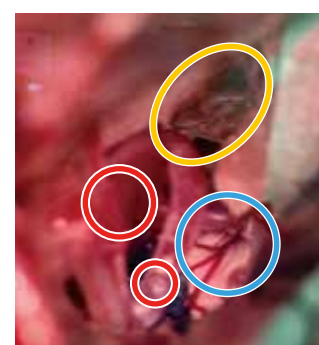


Trans positionでは専用の微小キット(青丸)を使っています。指で抑えてるところを押すと微量の生理的組織接着剤が出ます。深い術野にも入ります。これは当院の岩崎名誉院長が独自に開発され、広く普及しています。

顔面痙攣への微小脳血管減圧術について

顔面神経の近傍に聴神経があり、術中のABRモニタリングを正確に実施することで聴神経への損傷を最小限にする必要があります。

術中に熟練した検査技師によるABRモニターにより、手術操作による聴神経へのダメージを予見し、必要時は手術操作を一旦休止して聴神経の損傷を回避します。



出向部(REZ)を圧迫していた椎骨動脈(赤丸)、後下小脳動脈(赤丸)を完全に外し、生理的組織接着剤を使用してこの血管の別な部分を硬膜に接着(黄色丸)して先の解除した状態を安定させます。これにより出向部(REZ)が完全に解除(青丸)されています。こういった手法をTrans position法と言います。もっとも再発率が少ない手技で当院では岩崎名誉院長のご指導のもと、優先的に実施しています。

外内視鏡システム導入

2020年2月、新たに手術用の機械として 外視鏡と神経内視鏡を導入しました。



脳神経外科/脳血管内治療科 副部長
脳血栓回収術/脳神経内視鏡手術治療班 班長
頭蓋底脳腫瘍/微小脳血管減圧術治療班 副班長
森田 寛也

外視鏡って何？

今まで脳内の細かい神経や血管に対する手術は手術用顕微鏡を使っていました。外視鏡は、この顕微鏡の代わりとなる新たな機械です。4K3Dカメラで撮影した映像をモニターに映し、特殊なメガネをかけることで術野を立体的に見ることができます。手術用顕微鏡に比べて、本体自体が小さいこととモニターを見ながらの手術に変わることによって大きなメリットがあります。

- ①執刀医の自由度が上がり、より楽な姿勢で手術ができる
- ②患者さんの姿勢や体位による制限が緩和される
- ③助手や室内のスタッフにも術野がよく見える

などがあり、手術の安全性と確実性が上がります。ただ、手術によっては顕微鏡に劣る部分もあるため、当院では必要に応じて外視鏡と顕微鏡を切り替えたり、さらに内視鏡を組み合わせたりしながら手術を行っています。

当院に導入されたのは、最新式の外視鏡(VITOM®3D: KARL STORZ - ENDOSCOPE)で、この機器はまだ日本でも数えるほどしか導入されておらず、近畿地方では初の導入となります。



(中央手前)佐々木院長執刀 (右)長谷川名誉会長指導参加
(中央奥)森田副部長アシスト参加

神経内視鏡って何？

胃カメラとよく似た構造の機械です。これを用いることで、従来大きく頭蓋骨を開いて行っていた開頭手術が、1~2cm程度の小さい穴を頭蓋骨に開けるだけでできるようになる場合があります。脳内血腫・脳室内血腫、水頭症、嚢胞性病変(くも膜嚢胞やコロイド嚢胞など)は神経内視鏡が得意とする疾患です。

また、深部の状態をより鮮明かつ広範囲に観察できるため、これまでと比べて脳や神経への負担が減り、開頭では到達困難だった部位にもアプローチしやすくなります。

現在、当院には学会で認定された神経内視鏡技術認定医がおり、今後、この手術法も拡充していく方針としています。



(左)森田副部長執刀 (右)小林副部長指導

栄養部の取り組みの紹介

当院には管理栄養士2名が在籍しています。
私たちの活動を一部紹介させていただきます。



管理栄養士 磯田・安田

地域(鶴見区)での食育活動

「野菜をつかったおすすめレシピ」に応募しました

鶴見区の食育推進の取組として、「広報つるみ※」のレシピ紹介があります。

当院からは、以下のレシピを応募しましたので紹介します。

※毎月1日発行、区民へ全戸配布される鶴見区広報誌

テーマ 野菜を食べよう(健康づくりと生活習慣病の予防のために、野菜を1日350g以上食べましょう)



大根の炊き込みご飯

材料(5人分)

精米.....2カップ(340g)	椎茸.....2枚(20g)
水.....450cc	糸切り昆布..5g
大根.....120g	しょうゆ.....大さじ1
人参.....50g	みりん.....大さじ1
油あげ....20g	青ねぎ.....適量

作り方

- ① 米を洗い、水を入れる。
- ② 大根・人参・油あげ・椎茸を5mm幅の短冊切りにする。
- ③ ①に②、糸切り昆布・調味料を加えて炊く。
- ④ 炊きあがったら茶碗に盛り、青ねぎをのせる。

ポイント 昆布と椎茸のうま味を活かして塩分控えめにしています

1人分あたり エネルギー:281Kcal
塩分:0.6g 野菜:39g

また、鶴見区の医療機関・高齢者施設・学校・保育園等の栄養士との交流会も定期的に参加しています。地域の食育活動を知ったり、他施設との情報交換ができ、良い機会になっています。今後もできる限り、地域活動にも参加していきたいと考えています。

病院の食事

3/3 ひなまつりメニュー

入院生活で食事が楽しみになるように行事食を取り入れています。



栄養指導・相談

入院・外来で対応しています

食事でご気になること・不安なことがありましたら管理栄養士やスタッフまでお声がけください。ご家族や生活支援される方でも構いません。

患者様にとってよりよい食生活をアドバイスできるように栄養管理に努めていきます。よろしくお願いします。



「施設基準管理士」を取得しました

近年の急激な医療制度改革に伴い、医療現場は大きな変化を迫られています。医療施設においては医療機能や設備、診療体制、安全面、サービス面等の充実が求められていますが、制度が複雑で解釈が難しいことや、院内で相談できる人がいないなど、極めて対応が難しい状況にあります。つまり、各医療機関では健全な病院運営を図るうえで施設基準等の管理者の育成が急務となっている状況があります。

一方、監督省庁である厚生労働省も、監督業務に膨大な労力を投入しています。この労力は、医療機関が適正な施設基準管理を行ってさえいれば本来不要なものであり、施設基準等適時調査、個別指導による返還金の発生は、誰の利益にもならない「無益

な戦い」ともいえます。

そこで医療機関、監督省庁の双方の負担を軽減し、安心・安全で高度な医療が国民に提供されるように、施設基準管理士はあります。

施設基準管理士は比較的新しい資格制度で、2019年1月に第1回目の認定試験が行われ、371名が合格、第2回は2019年11月に行われ360名が受験、215名が合格と合格率が59.7%で、全国でもまだ600名弱の資格保有者しかまだいません。

施設基準の届出が簡素化される一方で、その施設基準を維持していくためには日ごろからの数値管理が必要とされており、様々な場面で活躍ができるよう頑張っていきます。



医事課 課長
桑原 史成

「外国人医療コーディネーター」を取得しました



医事課 小谷 健太

令和2年2月21日(金)22日(土)に大阪で開催された、「外国人患者受入れ医療コーディネーター養成研修」に参加しました。参加者は大阪の病院からだけではなく、全国の病院から集まっていました。

外国人患者受入れの体制整備について、各病院の取り組みや実例を多く学ぶことができました。

このような研修に参加するのは初めてでした。しかし、多くの事例を知ることができ、この研修

で学んだ事を、これからの当院の取り組みに活かせればと思いました。

言葉や文化の違う外国人患者さんを受け入れることは、慣れないことや戸惑うことが多いです。当院もまだまだ十分に体制は整っていませんが、これから体制を整えていきたいと思います。そして、外国人患者さんも、安心して医療を受けることができる病院を目指していきたいと思えます。

東大阪消防より表彰

令和2年3月東大阪市消防局より、東大阪市の救急行政に尽力したことで表彰されました。

当院は鶴見区にありますが、東南を東大阪市、西を城東区に接しており、来院される約1/3が東大阪市在住の患者さんです。そのため、東大阪市方面からの救急車の搬送も多く、今回そのような関係から表彰を賜りました。消防局長からは、「他市・他医療圏からの病院の選出は異例なことであり、それだけ救急車の受け入れに協力していただいているということです」というお言葉もいただきました。

今後も地域の頼れる病院として救急行政の一貫を担っていきたいと思います。



東大阪消防より表彰・看護部実習生



ミャンマーから3人の実習生が来ました！

4月20日より、ミャンマーから3名の技能実習生が看護部にて介護の実習を開始いたしました。当院で初めて、技能実習生の受け入れとなります。

病院では、食事、入浴、着替え、オムツ交換等、介護について様々な勉強をしながら、日本語の勉強にも励んでいます。そんな3人にインタビューをしました！



Q1. 日本で介護の勉強をしようと思ったきっかけは？

子どもの頃からおじいちゃんおばあちゃんと一緒に住んでいて、お世話をするのが好きでした。

他の仕事より、介護の仕事をした方が日本語がもっとレベルアップできると思ったからです。

おじいちゃんおばあちゃんのお世話をするのが好きなので、介護の仕事を選びました。

Q2. 日本でいきたい所、やりたいことは？

USJに行きたい。
着物を着てみたいです。

富士山に行きたい。
有名な食べ物を食べたいです。

鎌倉や色んなところに旅行に行きたいです。

Q3. 今後の目標や夢は？

日本語の先生になりたいのと、
介護の仕事を私の国に教えたいです。

通訳者になりたいです。

自分より体の大きい方の介助がまだ慣れないので大変です。

Q4. 意気込みを！

日本語を上手に話せるようになりたいです。また、介護の試験と日本語の試験を合格できるように勉強を頑張ります。

介護の試験に合格できるように勉強していきます。

家族を支えたい。また、日本で学んだことをミャンマーの老人ホームに伝えたいです。



彼女達は日本語での日常会話程度のコミュニケーション技術は習得しています。患者さんとの会話を大切にし、藍の都で介護技術を学び、心の通った介護士になってもらいたいと思います。

教育担当 利川副師長



慣れない環境の中で新しい事を覚えながら日々頑張ってくれています。看護部全体で彼女たちの成長をサポートしています。

教育担当 堀家主任

病院開業9周年記念事業

脳神経外科常勤医師9名(脳血管内治療学会専門医4名)
+SCU12床体制で大阪東部地区の皆様に貢献します。



脳卒中チーム2020

1 オゾンクラスター設置

現在、ER室とCT室に接している高濃度オゾンクラスター2台に加え、さらに8台を追加し合計10台。また新たに低～中濃度オゾンクラスターを84台、合わせて総計94台を本院、デイ永田、デイ今津、サ高住、更衣室に設置しました。患者様ならびにスタッフ間でのクラスター予防を徹底します。

オゾンクラスター84台設置



2 感染拡散防止を徹底した次世代型脳卒中治療体制



ER室



CT室



検査室

HEPAフィルター式空気清浄機を救急ER室とCT放射線室に配備しエアロゾル空気感染拡大を最大限に予防。

クラストップの安全キャビネットを使用した検査部による抗原・PCR院内検査を実施し早期の感染を診断。



SCU



HEPAフィルター 脳血管造影室

脳血管内手術チーム

佐々木、矢野、小林、森田は脳血管内治療学会専門医の資格を修得しています。

脳血管内手術室や手術室にHEPAフィルター式空気清浄機を設置し緊急手術でのエアロゾル空気感染拡大予防を徹底。

3 調剤薬局の増築

病院入口に調剤薬局が増築され、8月1日にオープンしました。患者様の利便性が向上します。



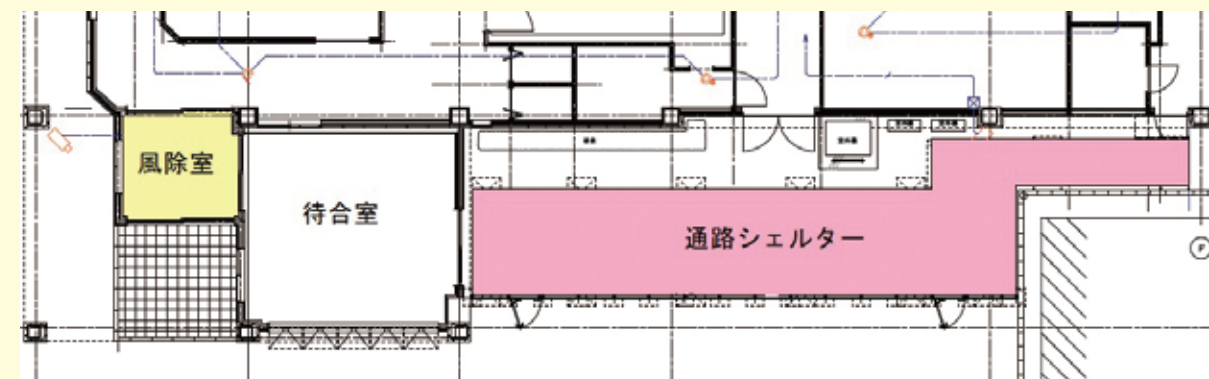
4 北区画駐車場整備 9月26日開設!!

患者様はもちろん、職員の利用も考慮した駐車場と、皆様にご利用いただけるバスケットコートを設置しました。8月に着工し、9月26日に完成しました。



5 1階西待合室の設置 10月下旬開設予定

外来待合3密を防止するため、パワリハ横通路(旧感染外来スペース)からCT前室に至るスペースに、屋根付き屋外廊下、西待合室が設置される予定です。10月開設を予定しております。なお、この西待合室の横の風除室等入口は北区画に増床増築する場合の暫定救急車受け入れ口となる予定です。



6 外来対応

風除室にて検温



問診票の記入



再来受付機 年内に導入予定!!

